

## 松島観光(2012.9.29)

右城 猛

### まえがき

仙台には何度か来ているが、松島観光は一度もしていなかった。昨年6月に震災調査で来たときに、「ブリーズベイシーサイドホテル松島」と「ホテル松島大観荘」に泊まったが、松島湾を眺めただけであった。

今日は、仙台空港から伊丹空港で乗り継いで高知に帰るだけなので、飛行機の時間まで松島を観光することにした。

松島は、京都の天橋立、広島ของ宮島と共に日本三景に数えられている。この地域は、地層が第三紀層の凝灰岩、砂岩、礫岩で出来ているため、波の侵食に対して非常に脆い。そのため島の上に松が生え、海水面近くは波で鋭角にえぐられ、面白い形となっている。

### 塩釜港から松島港へ

仙台駅から JR 仙石線で本塩釜まで行き、塩釜港 9 時発の松島港行き観光船に乗る。ホテルから電話で予約を入れていたので 1 割の割引があった。松島港までの所要時間は 50 分。



切符を買った際に、「かつばえびせん」をいただいた。ウミネコを呼び寄せる餌である。

観光船のデッキに出て「かつばえびせん」を差し出すと、ウミネコが群がってきて、実に器用にくわえる。



「かつばえびせん」に群がるウミネコ



仁王島。仁王像が葉巻をくわえて座っているように見える。



鐘島。4つの洞門に打ち寄せる波が鐘の音のように聞こえたことが名の由来。



よろい島。



松島名物の牡蠣の養殖



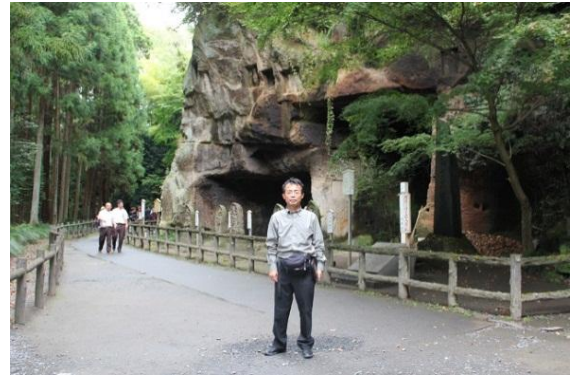
観光船のデッキから

## 瑞巖寺

臨済宗妙心寺派の寺院である。正式名称は、松島青龍山瑞巖円福禅寺（しょうとうせいりゅうざん ずいがんえんぷくぜんじ）。平安時代の創建で、宗派と寺号は天台宗延福寺、臨済宗建長寺派円福寺、そして伊達政宗が 1609 年に建立した現在の臨済宗妙心寺派瑞巖寺と変遷した。



総門を入ると女性が「ガイドは必要ないですか」と声を掛けてきた。観光地に良くいる無料のボランティアかと思ったら、有料で 1 回 1800 円。私が一人と分かると、1000 円で引き受けてくれた。



洞窟群遺跡。昔、修行僧が洞窟を人力で掘り、その中で起居していた。内部の壁面には卒塔婆や仏像、法名を彫った跡が数多く見られる。



参道脇にある鉄道殉職者弔魂碑。昭和8年に仙台鉄道管理局が建立したもので、ガイドの話では、東北本線の工事で亡くなった人の霊を弔ったもので、毎年、ここで慰霊祭が行われている。

東北本線は明治24年（1891年）に開通している。難工事で多くの犠牲者が出たのだろう。



境内に津波到達点と書かれた標識が建てられていた。

3.11 東日本大震災で発生した津波は、瑞巖寺の境内まで押し寄せたが、本堂には到達していない。松島湾の260余りある島々によって減衰されたと言われている。

瑞巖寺が建立されている位置は、869年に起きた貞観地震津波など過去の経験が活かされているに違いないと思った。

境内には無数の杉が植えられているが、津波で枯れたものも多い。海水が地盤に染み込むと塩に弱い杉木は比較的簡単に枯れてしまう。

現地調査の際、バスガイドから杉枯れから津波の到達範囲を推測できることを教えてもらった。



枯れた境内の杉木が伐採されていた。



参道。総門をくぐると杉木立が遠く続く。



本堂前に立てられた案内板。



法身窟（ほっしんくつ）。拝観受付所から中に

入ると、格子のはまった洞窟がある。鎌倉時代半ばに法身禅師と執権北条時頼が会った場所とされている。

2基の石碑がある。左側の石碑には鎮海観音、右側には楊柳観音が彫られている。



本来は本堂に安置している御本尊、藩祖政宗公・2代忠宗公の大位牌、三代開山木像が、大書院で特別に公開されていた。



瑞巖寺専門道場「陽徳院」。拝観謝絶と書かれていた。



国宝に指定されている庫裡（くり）。料理を作る場所。大屋根の上に煙出しが載っている。



国指定重要文化財の雲版（うんぱん）＜瑞巖寺のHPから引用＞。

大書院の入り口に吊された雲版を僧侶が木槌で叩いていた。時刻は11時。1時間毎に叩いているのかと僧に尋ねると、1日3回とのこと。雲版は食事時を告げる法器。雲板または斎板とも呼ばれる。昔は11時に昼飯を食べていたのだろうか。

瑞巖寺の本堂は、平成の大修理期間中であった。



瑞巖寺から出る際、ガイドに頼んで松島湾をバックに総門で写真を撮ってもらう。総門は額縁の役目もしているようである。

## 松島海岸



松島を代表とする景観。独立した島の上に透橋を架け、五大堂が建っている。



松島城展望台。時間の都合で登れなかった。



太陽光を浴びてキラキラ輝く松島湾



五大堂の小島に架けられた「すかし橋」



松島観光のメインの福浦島。朱塗りの欄干の福浦橋(252m)で陸と結ばれている。

松島海岸駅を12時34分発の電車に乗らなければ飛行機に間に合わない。時間の都合で観光できなかった。残念。



五大明王を祀った五大堂。御本尊の五大明王は33年毎しか御開帳（一般公開）されない。



昼食に食べた牡蠣と穴子丼



五大堂の境内から眺めた松島湾

## あとがき

観光した時間は、松島遊覧を含め3時間であった。せめて4時間は必要であった。もう一回は観光したいものである。

【2012年9月30日記】